



病院長からのメッセージ

「安全な医療の提供を目指して」

病院長 泉 良平

病に倒れ、傷ついた皆様の健康を回復することが富山市民病院の務めです。そして、安全な医療を提供することが最も大切です。これまでの医療安全への取り組みを点検し、改善することによって、皆様のご期待に添える医療を提供したいと考えています。

これまでの病院での医療安全への取り組みをお知らせし、更なる改善についても併せてお示し致します。

富山市民病院では、平成10年に医療安全委員会を設置し、平成12年には、リスクマネジメント委員会を設立しました。平成16年には、副院長1名を医療安全担当とし、さらに、これらの医療安全機能を統括する医療安全部を平成17年に設置し、医療安全管理室を設置しました。

医療安全委員会では、医療事故に過誤がなかったかなどを検証し、病院の対応を協議し決定します。リスクマネジメント委員会では、医療事故を未然に防止するために、報告された事故の内容（他施設での事故も）や、事故にはならなかったもののヒヤリとしたり、ハットしたりした事例（インシデントレポート）を分析し、病院での安全対応策を決め、様々な医療安全に必要な取り組みを提案します。リスクマネジメント委員会は、医師・看護師など院内全ての職種の委員から構成されており、医療のみならず、院内環境など全ての問題に対処します。リスクマネジメント委員会が中心となって、毎月インシデントレポートを解析し、日常診療での改善を行っています。これまでも、誤嚥による肺炎・窒息を予防するためのプログラム作成や、持ち込み薬への対応を統一するなど多くの改善を行っています。

ジェネラルリスクマネージャーは、院内の全ての部署に配置されているリスクマネージャーを統括します。これまで、ジェネラルリスクマネージャーは、他の業務との兼任であったために十分な活動がなされていたとはいえませんでした。本年4月からは、専任のジェネラルリスクマネージャーを1名配置します。専任のジェネラルリスクマネージャーは40時間以上の医療安全についての専門的な知識を履修しています。

毎週火曜日に医療安全担当副院長・医療安

全部主任部長・ジェネラルリスクマネージャーらの医療安全管理室メンバーが集まり、医療安全について検証をしています。院内外からもたらされる情報をもとに、医療安全についての指示を行います。

また、病院には、医療に関する苦情がもたらされます。苦情によっては、医療の安全に大変大切な情報ももたらされることがあります。これまでは、医療相談室の職員が苦情をお聞きしてきましたが、本年4月からは、専任の医療メデイエーターを配置し、皆さんの権利を守る立場から、そして、苦情をより納得のいただけるように解決する立場から活動致します。アメリカには、患者アドボカシー（権利擁護）という言葉があります。専任の医療メデイエーターは、患者さんの権利を守り、皆さんの立場にたって考え、利益になるように働くことを目的とします。このことによって、より安全な医療の提供に役立てることが出来ます。

富山市民病院は日本医療機能評価機構の認定病院であり、認定病院患者安全推進協議会に参加しています。日本医療機能評価機構は、全国の医療機関から医療事故報告を受けて分析し、医療安全に関する様々な提案を行います。平成16年10月に施行された医療法施行規則の一部改定で、大学病院や国立病院機構などには医療事故を報告する義務が課せられました。富山市民病院には、この義務はありませんが自主的に報告を行っています。そして、これら報告の分析からもたらされる貴重な情報を得ることによって、より安全な医療を提供できることが可能となります。

その他に、病院職員の医療安全への意識を高めるために、1年に2回以上の研修会を開催しています。医療担当の弁護士や、苦情処理に関する講演会、研修を受けてきた職員による医療安全への取り組みなどの紹介などを行い、職員一人一人の意識を高めるを行っています。

医療安全は、個人の力でできるものではありません。病院の組織として、安全な医療を提供することに取り組むことが大切です。先にお知らせしましたように、スタッフを増強し、そしてシステムをより改善して、病院の総力を上げて安全な医療の提供に努力致します。皆様からご意見をいただき、さらに改善いたしたいと思えます。ご理解をお願いいたします。

目次

■病院長からのメッセージ 「安全な医療の提供を目指して」 病院長 泉 良平	1
■部門紹介 医事課	2
■連載 お薬Q&A④	2
■連載 ナース・ケア① 「集中治療部 ICU・HCU」	3
■連載 病院川柳 「17文字メッセージ」	3
■特別寄稿 ホスピスケア認定看護師に認定されました！ 市橋啓子	4
■連載 旬をたのしむ30 「みかん」（栄養科）	4
■解説 在宅医療⑧ 「訪問介護（ホームヘルプサービス）」 地域医療連携室	5
■院長への手紙 ご意見とお返事	5
■連載 教室紹介・相談室紹介⑥ 「ひまわりの会」	6
■今月のふれあいギャラリー	6
■連載 ボランティア・エッセイ31 「日々是好日」（日新日々新） 病院ボランティア 石森貞夫	7
■今月のイベントと院内の動き	8
■編集コラム	8

賀正



部門紹介

医事課



病院の正面入口から入っていたと、中央受付の隣合わせに医事課があります。医事課は52名の職員が、外来係、入院係、医事係に分かれて勤務しており、約9割が女性という華やかな職場です。

外来係では、外来に受診される患者さまの受付・登録・案内とその診療費の計算と会計を行っている他、診断書や証明書の申請受付・交付を行っています。患者さまが来院されて、最初に顔を合わせ、お話しさせていただき事務職員ですので、患者さまの不安な想いを少しでも和

らげられるよう、親切で暖かい対応を心掛けています。

入院係では、入院される患者さまの受付をし、その診療費の計算を主に行い、医療費が高額となって高額療養費制度の適用となる場合には、その手続きについて説明をさせていただきます。事務職員が病室に請求書をお持ちした際には、診療費に関するなどで普段疑問に思っていることがあれば、お気軽に声をお掛けください。

医事係では、当院の経営状況などを把握するために、診療に関する統計を始めとして、交通事故・労災事故の診療費に関する事、国や審査支払機関への提出書類の作成などを行っています。また、医療費の一括納入が困難な患者さまには、分割での納付について相談させてい

たきますので、お申し出下さい。

以上、医事課の業務を係別に簡単に紹介させていただきましたが、昨年初めは、導入したばかりの電子カルテに慣れず、患者さまには随分とご迷惑をおかけしました。現在は、院内の全スタッフが慣れてきたこともあり、かなり改善していますが、それでも部門間の連絡不徹底等、ご迷惑をおかけしていることがあります。患者さまからのご指摘いただいた事柄について改善に努めるとともに、職場研修等を通じて、患者さまに気持ちよく診察を受けていただけるように努めてまいりますので、よろしくお願ひします。



お薬 Q&A ④

Q. 坐薬ってなんですか？ また使い方を教えてください？

A. 坐薬とは、肛門の中に入れる薬です。これには、痔の薬のようにその場で肛門部の出血、痛み、はれ、かゆみなどの症状をやわらげる薬と、溶けて吸収され（吸収されるのは中の薬だけで白い殻は溶けてまた肛門から出て行きます）、全身へ運ばれて行き痛みや炎症を抑えたり、熱を下げたりする薬があります。後者は、飲み薬と違って胃腸障害が少なく、食事に関係なくいつでもつかえます。また、利き目が速いため、症状のあるときだけ使うような頓用薬としてよく用いられます。

坐薬の使い方

- ① 坐薬を入れる前に手を洗う。
- ② 包装から坐薬を取り出し、ティッシュペーパーなどで坐薬の底をつまみ、先の尖った方から肛門に挿入します。（挿入した後しばらくの間肛門を押さえ、20～30分間は運動を避けること）
- ③ 中腰になって指の先が肛門に触れるぐらいまで、坐薬を十分に押し込み、肛門を絞めます。この時に坐薬が出て来るのは、押し込みが不十分なためです。
- ④ そのまま立ち上がると簡単に挿入出来ます。あるいは、横向きに寝て上側の足を抱え込むようにした状態でも挿入できます。
- ⑤ 1/2～2/3を使用するときは、カッターを使い斜めに切って使用して下さい。

注意点！

- 坐薬を入れた後に便意をもよおすことがあるので、排便後に使用して下さい。
- 坐薬の挿入後、異物感や便意を感じても、しばらく我慢して下さい。
- 挿入後しばらくして、油のようなものが出るがありますが、それは基剤の溶けたものですから心配ありません。
- 坐剤は体温で溶けるように調整されているため、30度以上になると変形するので冷蔵庫などの涼しい場所に保存して下さい。
- 解熱鎮痛剤の坐薬を頓用で使用する場合は、続けて使用すると熱が下がり過ぎることがあるので、4～6時間以上の間隔をあけて使用するようにして下さい。

連載

ナース・ケア① 「集中治療部 ICU・HCU」

昭和58年10月、大手町の本院と五福にあった分院が統合されて新病院として今泉に生まれ変わり、高度医療の中核としてICU（集中治療科）が2階南側に開設されました。その当時としては最新の設備も20年という年月を経て、設備の老朽化と手狭となり時代のニーズと医療の高度化に合わせ、平成17年4月、ICUは特定集中治療室管理料、HCU（高度管理治療科）はハイケアユニット入院医療管理料の算定ができる施設として、リニューアルされました。

ICUは救急センターからの入院が半数を占め、急性心筋梗塞や、心臓・呼吸器・腎臓疾患の重症の方、またハイリスクの手術後の患者様です。HCUはICUと一般病棟の中間的な医療・看護を担う病棟として、主に外科や胸部血管外科、脳神経外科の手術後、またICUからや、救急

センターや外来からの重症患者様が対象です。

患者様は、各科医師、麻酔科医、臨床工学技士、リハビリ科などとの連携により、高度な医療器械やモニター、輸液ラインなどに囲まれ、24時間体制で濃厚な治療や看護を受けていらっしゃいます。ICUとHCUは同じフロアで連絡通路があり医療器械の相互使用や看護面でも応援体制をとっています。集中治療部という緊迫したイメージからの不安や苦痛を少しでも和らげ、快適に過ごしていただけるように、常に言葉がけを行い、1日も早く回復されるように患者様の立場に立った看護を日々心がけています。またご家族の皆様が少しでもやわらぐように面会時間に担当者が



的なサポートが出来るように努めております。ICUでは特定集中治療室6床として、常時看護師1人につき2人以内の患者様の看護を担当し（常時3人夜勤）、HCUは8床で、常時看護師1人につき4人以内の患者様の看護（常時2人夜勤）にあたっています。

ICU・HCUから一般病棟へと、治療や看護が適切に継続できるように連携を密にし、知識と技術のレベルアップを目指し安心と信頼がいただけるICU・HCUでありたいと願っております。

患者様の情報を提供し、余裕を持って精神



ご面会について

15歳以上の近親の方2~3名
午前 11時~12時
午後 6時~8時
10分程度でお願い致します！

急患の
結果を祈る
家族の背



オペのたび
涙するだけ
強くなり



窓越に
退院近し
町を見る



がんばる
あなたの笑顔に
癒されて



病ふし
人の情けが
身にしみる



看護師の
笑顔あふれる
この病院



お大事に
患者の心に
届けます



連載 病院川柳
「十七文字メッセージ」

看護部長のひと言

いつでもどんな状況にあっても、患者さまやご家族の気持ちに寄り添える心の余裕を持ちたいものです。

認定看護師とは、日本看護協会が設けた資格で特定の看護分野で熟練した技術と知識を持ち、高い水準で看護を行う看護師です。独自の技術と知識を用いて患者さまのケアや家族へのケア、看護職員や多職種への指導や相談などを主な役割としています。

ホスピスケア・緩和ケアの目標は、患者さまと家族にとり可能な限り良好なQOLを実現することです。そして、ホスピスケア認定看護師は、がんと診断されたその時から最期のときまで、患者さまがその人らしく生きられるように、心身の苦痛や症状を積極的に緩和し、患者さまと家族の方を支えていくことを役割としています。

ホスピスケア認定看護分野で特化した技術としては、①徹底した苦痛症状の緩和、②心理的・社会

的・スピリチュアルケアを含む全人的ケア、③ご家族へのグリーフケアなどがあります。苦痛症状は痛みおよび進行がんに伴うその他の症状などがあり、呼吸困難感には、呼吸理学療法、リンパ浮腫には、リンパドレナージ、口腔内のトラブルには口腔ケアなどを用いて身体的な症状緩和に努めます。しかし、身体的苦痛は、痛みだけでおきるのではなく、精神的な影響も受け痛みが増強する場合がありますので、病状ばかりでなく心理的・社会的・スピリチュアルなどの問題を全体的に捉え、全人的ケアを行います。「グリーフ」は「悲嘆」といい、「悲嘆」は「かなしみなげくこと」です。家族へのグリーフケアでは、ご家族が、大切な家族の一員を失くす、すなわち、愛する人の死に直面する、そのご家族が直面する危機や悲しみに対して寄り添



い、ご家族が安心して頼れる環境を整え、ご家族に対しての援助を行います。

現在は外来治療室に勤務するかたわら、院内の緩和ケアチームに所属し、緩和ケアの質の向上に取り組んでおります。患者さまとご家族の、「今、ここで」「今、この時」を大切にし、患者さまのひとり一人を尊重し、その人がその人らしく生きられるように力添えすることをモットーにしております。認定看護師としてまだまだ未熟ですが、日々自己研鑽の努力を惜しまずがんばりますので、今後ともよろしくお願い致します。

連載 旬をたのしむ30 「みかん」 (栄養科)

日本の冬にはなくてはならない存在のみかんは、ビタミンCやビタミンA効力を持つカロチンやビタミンEが多く含まれ、かぜの予防効果や美肌効果があるといわれています。比較的日持ちが良いので、完熟状態で出荷され、品質を保ったまま食卓に届くことができます。

横から見て平たいほど、味が濃縮されていて美味しいみかんです。果色が濃く、重みのあるものを選びましょう。

◆献立紹介 《みかんのチーズ和え》

- ① みかんは皮を除き、実を取り出す
- ② マカロニは茹でておく
- ③ いんげんは筋を除き、塩茹でにし、ザルにあげ冷まして、2cmくらいに切る
- ④ 【A】を混ぜソースを作る
- ⑤ ①・②・③を④で和える

材料(4人分)

みかん	2個
マカロニ	100g
いんげん	70g
【A】	
クリームチーズ	大さじ2
マヨネーズ	大さじ2
塩、コショウ	適量
練辛子	適量

★豆知識

みかんの皮を剥くとき、あたりに広がる爽やかな香りには、眠気を覚まし、頭をすっきりさせる効果があります

★栄養ゼミ ～年末年始が過ぎたら～

忘年会、おせち料理、新年会と続く年末年始のメニューには、味付けが濃かったり、加工食品や揚げ物を多く利用していたりと、どうしても新鮮な野菜が不足しがちになります。野菜に多く含まれる、ビタミンやミネラル、食物繊維が不足すると、なんとなく体がだるくなったり、便秘などをしやすくなります。野菜や果物を十分にとり、牛乳をはじめとした、乳製品を忘れずにとるようにし、なるべく早く健康な生活のリズムを取り戻しましょう。

解説 在宅医療⑧「訪問介護(ホームヘルプサービス)」地域医療連携室

今回は在宅サービスの1つである訪問介護についてお伝えします。訪問介護(ホームヘルプサービス)は、介護の専門家であるホームヘルパーが訪問し、利用者の身のお世話し、日常生活の手助けを行います。患者様の療養生活で介護が必要とされる内容は、直接身体に関わることで、日常生活に欠かせない家事があります。在宅療養を継続するとき、この両面からの支援が必要な場合があります。具体的な内容は、次のとおりです。

訪問介護(ホームヘルプサービス)の具体的な内容

- 食事や入浴、排泄の介助
- 自己注射や内服が必要なときの声かけや確認
- 通院介助(付き添いなど)
- 利用者の食事の準備や後片付け、洗濯
- 利用者の居室や利用する場所の掃除
- 買い物や買い物の付き添い
- 散歩の介助など

どの場合も利用者の方が主体ですので、自分でできることは積極的に行っていただけるように働きかけたり、安全に行えるように見守ったりします。

利用料の自己負担は要介護度によって大きく2つに分けられます。

◆要支援1・要支援2の場合(月額の設定額制)

週1回程度の利用	1,234円
週2回程度の利用	2,468円

◆要介護1から5の場合(1回の自己負担(1割))

身体に関わる介護が中心の場合(身体介護)と、家事など生活に関する援助が中心の場合(生活援助)があります。

	身体介護中心	生活援助中心
30分未満	231円	—
30分以上1時間未満	402円	208円
1時間以上1時間30分未満	584円	291円

必要に応じて、早朝、夜間、深夜の利用が可能です。対応できる事業所が限られたり、加算がついたりします。訪問介護を提供するホームヘルパーも病院やかかりつけ医の先生方、訪問看護師または病院看護師と連携しながら支援させていただきます。

住み慣れた地域で安心して過ごしていただくために、生活に密着した訪問介護は、療養生活を支える重要な介護サービスです。当院においては、医療相談室を窓口としてご相談に応じております。お気軽にご相談ください。

院長への手紙

ご意見

入院していたのですが、看護師さんの人員が少なく、患者さん方一人一人に手が行き届いていないかのように思われたのですが、病院側としてはどのように感じておられるのでしょうか?ご回答をお願いいたします。

お答え

ご意見有難うございました。ご指摘のように、看護師の体制は決して十分とはいえないのが現状です。昨年の4月からは、夜勤勤務の体制については、病棟内に掲示してあるとおりますが、病棟によっては、2人の看護師が夜勤を行っているところもあります。看護師を多く確保して、夜間にも多くの看護師を配置するよう努力しています。

病院には、重症の患者さんを治療する部署として、看護師を多く配置した、集中治療室と高度管理治療室がございます。病状の変化に応じて、適切に病棟を変わっていただくなどして、治療に万全を期したいと考えております。

今年の4月には、約40名の看護師を採用する予定でいます。優秀な看護師をより多く雇用し、安全な医療の提供に努めてまいりたいと考えております。ご理解を宜しくお願いいたします。

「ひまわりの会」は、乳がんの手術を受けられた患者様の患者会です。平成7年に発足され現在110名の会員の方が登録されています。病気の不安や闘病の悩みやつらさを経験された患者様同士が集まり、お互いを勇気づけ病気と向き合い共に歩んで行く会です。

「ひまわりの会」では、会員の方々が中心となり会を運営しており、医師・看護師はサポート役として参加させていただいています。では、活動内容をご紹介します。

ひまわりの会の活動内容

1. 定例会
年4回開催(3・6・9・12月)
集団指導室において
2. おしゃべり会
第3金曜日13:30～15:30
(定例会以外の月曜日)
教室室において
3. レクリエーション(年1回)
4. ひまわり通信の発行(年4回)

定例会では、会員の皆さんが日ごろ必要としている内容を中心にテーマを決め、「乳がんについての最新情報」や「こころのケア」について講演会を開き情報を提供しています。ちなみに今年度は、「ホルモン療法について」「ストレッチで心と体のリラクセス」「ストレスと上手に付き合って心を楽にする」「現在の代替・補完療法について」を行なっています。講演会の後には、懇親会の時間もあり近況や悩みなどをグループに分かれて話し合っています。

「おしゃべり会」は、会員の役員の方たちがボランティアの聴き役となり、悩みやつらい思いなどの相談に応じています。「レクリエーション」は年1回企画され、景色の良い温泉などに行き、皆で温泉に入り交流を深めています。「ひまわり通信」の内容は、定例会の案内や報告、



会員の方の体験談などを載せています。仕事などで定例会には参加できない方は、この通信を楽しみにしていると聞いています。

これからも増えつづけていくだろうと言われている乳がんですが、一人でも多くの患者様が笑顔で暮らせるように、会員の皆様とサポートスタッフは頑張っています。乳腺の病気で悩みをお持ちの方がいらっしゃいましたら、外科外来が窓口になっていますのでご相談ください。

■今月のふれあいギャラリー(玄関ホール2階)

12月23日から1月19日まで、写真「呉羽山のためぎ」(浅田臣枝(とみえ)さん)を展示しています。待ち時間などに気軽にお立ち寄り下さい。12月2日から展示しておりました水彩画「和の絵日記3」(石金和子さん)は12月22日で終了しました。有り難うございました。



↑ふれあいギャラリー(12月2日～12月22日)
水彩画「和の絵日記3」より(石金和子さん)

←ふれあいギャラリー(12月23日～1月19日)
写真「呉羽山のためぎ」より(浅田臣枝さん)

連載

ボランティア・エッセイ31 病院ボランティア 石森貞夫
『日々是好日』（日新日々新）

▽また一年の歳月が流れ、新しい年を迎えました。「暮らしのこよみ」高島易断所の平成19年度の運勢によれば、今年是好調で心身ともに快適、喜び事の多い年回りですが、何事にも必要以上に意気込んだり、挑戦的にならずとも、平生の調子で人間関係も明るく、円満に進展するが、十分な気配りが必要で、言動に注意して、脱線することなく慎重に生活せよとの指針でした。

▼去年は「命」を巡る事柄があり、漢字は命となりましたが、人それぞれに個性があるように、個々の生命は大切な事ですので、子どもから大人まで今後も真剣に考えたいものです。さて2006の読売写真ニュースは、①荒川イナバウアーで優勝(2月)、②ホリエモン事件(4月)、③王ジャパン初代世界王者優勝(3月)、④米大統領に拉致解決を要請(4月)、⑤梅雨前線21人犠牲(7月)、⑥陸自イラク・サマワ撤退(7月)、

⑦ヒデ・中田英寿現役引退(7月)、⑧酒酔い車3児水没事故(8月)、⑨早実悲願の初優勝・ハンカチ王子斎藤投手(8月)、⑩悠仁親王誕生(9月)、⑪安倍内閣スタート(9月)、⑫日本ハム44年振り日本一(10月)、⑬北朝鮮核実験・国連安保理で抗議(10月)、⑭北海道で竜巻9人犠牲(11月)の悲喜交々でしたが、事件は悲惨なものが多く、あるものは忘れられ、また世間の耳目を集めています。反省して今年に活かしたいものです。

▽年が改まると一年の計は元旦にあり、若いときは壁に目標やスローガンを掲げて、三日坊主に帰しますが、「日々是好日」を机の前に貼ったひとは漫画家・加藤芳郎先生で、家族の人が「胸に残った言葉」です。「にちにちこれこうにち」は、月日に好い日悪い日はない。それは自身の心であって、心が正しければ悪い日は一日もないはず。そしてそれは又「日新日々新」日に新たに日々新たにへと続く。いつも新鮮な心であれば、それは仏心であり、更に永遠の今であることを悟れと、高僧は弟子に教えてどんな日にも命の意義があると、今日の禅語となっています。

▼「門松は冥土の旅の一里塚」正月のことわざですが、生きていることの貴重なことの考えで、門松は新しい年のスタートですが、立てる度に歳を取ることからいえば、冥土へ一歩一歩近づいているようなものだ、と、柳荒美談から学びますが、ことわざは、人生処世上の教訓や日常生活の規範で、私達人間は煩惱の鬼の哀しさに、人を愛したり恋したりすることもあれば、憎んだり呪ったり、また楽しさ嬉しさに有頂天のときもあれ

ば、悲しみに沈んだり、怒りや憤りにふるえることもあり、「喜・怒・哀・楽・愛・悪」の六情がなる業です。また人間は感情の動物で、五臓(心臓・肝臓・腎臓・肺臓・脾臓)～六腑(胃・胆・大腸・小腸・膀胱・三焦)と消化排出の器官三焦(上焦は心臓の下・中焦は胃の中・下焦は膀胱の上)による人間の身体内臓により、「あなたは私に勇気をくれる」ことを忘れてはならないと、医学書(漢方)に記述してあります。

▽「好日」は運勢や気候の問題ではなく、易断の吉・凶に惑わされることなく、日々真実の生き方をすれば、毎日がそのまま好日でしょうか。本年も皆様方はそれぞれの夢を求めて、プロフェッショナルとしての誇りとプライドを忘れず、少しでも前進しましょう。三億円の宝くじや「一富士・二鷹・三茄子」の初夢を見て、好いお正月を過ごされたでしょうか。新年にあたり、希望をもってがんばりましょう。「希望は人を成功に導く信仰である。希望がなければ、何事も成就するものではない。」(ヘレンケラー)

▼参考《四字熟語・人生訓》

一期一会(めぐり合い・出会いの不思議)、一念発起(新たに決心する)、一病息災(長生きする秘訣)、因果応報(善悪に報いがある)、温故知新(古きを知り新しい見識を)、臥薪嘗胆(長い年月への努力)、艱難辛苦(苦勞を乗り越える)、起死回生(よい方向に生き返る)、喜怒哀楽(人生の生き方)、後生大事(余生を大切に)、七転八起(何度も失敗にくじけず)、心機一転(心の持ち方で人生を変える)

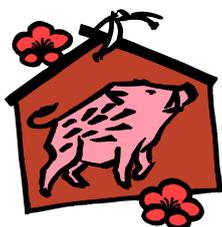


■ 今月のイベントと院内の動き

- 12月7日(木)：医師の接遇向上研修会が行われました。吉友嘉久子さんを講師にお招きし、「やるきを引き出すコーチング」について研修しました。
- 12月19日(火)：午後5時15分から「クリスマス会」がありました。サンタクロースと聖歌隊が各病棟を訪問しました。
- 12月22日(金)：小児病棟のクリスマス会が盛大に行われました。ボランティアの皆さんや富山市医師会看護専門学校の学生さんのご協力ありがとうございました。
- 12月27日(水)：地域がん診療連携拠点病院の一つに当院が指定されることに決まりました。厚労省は都道府県拠点病院と地域拠点病院の配置を計画しており、今回地域拠点病院に決まったのは、富山医療圏の富山市民病院、富山大学附属病院、高岡医療圏の厚生連高岡病院、高岡市民病院、新川医療圏の黒部市民病院、富山労災病院、砺波医療圏の砺波総合病院の7病院で、都道府県拠点病院には県立中央病院が既に指定されています。
- 1月1日：病院敷地内全面禁煙がはじまりました。患者様並びにご来院の皆様への受動喫煙を防止し健康増進をはかるためです。どうかご理解とご協力をお願いいたします。



「クリスマス会」



病院敷地内 全面禁煙



病院敷地内全面禁煙

患者様並びにご来院の皆様への受動喫煙を防止し健康増進をはかるため、ご理解とご協力をお願いします。

平成19年1月1日 病院長

■ 編集コラム

公共事業の入札制度が変化しようとしています。談合を減らす試みの一つとして総合評価方式というのがあります。従来のように入札価格で決めるのではなく、価格以外に優秀な技術者がいるとか社会貢献しているとかいい仕事をした実績があるとかを点数で上乗せする方法です。小学校の通信簿のように点数表で評価するわけですが、確かに以前から通信簿のなかには学業の成績だけでなく、協調性とか道徳とかいろいろなものが含まれていました。つまり、こどもの成長は成績一辺倒の物差しでは測れないということです。同様に、今、企業に求められているのは売り上げだけではなく、信頼のような付加価値であり、適正な利益に基づいたブランドではないでしょうか。利益一辺倒の企業体質では、多様化した一般市民の期待に応えられないのかもしれない。

もともと医療のように非営利的な事業の場合はなおさらです。例えば黒字は生み出せなくても、安全で信頼できる医療、確かな技術力、思いやりや安らぎにあふれる療養環境、地域のニュースにあった医療といったことをバランスよく評価する通信簿のようなものがあれば、病院の善し悪しがわかりやすくなります。そういう物差しの一つがバランス・スコア・カード(BSC)ですが、富山市民病院ではBSCを活用し、改善活動に取り組んでいます。

総編集長：病院長 泉 良平
編集部：齋藤勝彦・家城岩松・石森貞夫
島竹恵美子・松下桂子・玉扶持春実・川口 宏

発行：富山市立富山市民病院広報委員会
〒939-8511
富山市今泉北部町2-1

電話 076 (422) 1112
Fax 076 (422) 1371

<http://www.tch.toyama.toyama.jp/>



富山市立 富山市民病院

